

【報告】平成30年度 第1回学校評議員会

- 1 日時 平成30年6月11日(月) 13:30~15:00
- 2 場所 本校 ATルーム
- 3 出席者 畑中 新吉 (JA新しいわて 代表専務理事)
福島 啓一 (前 岩手県南広域振興局農林振興センター)
久慈 智春 (国際ソロプチミスト盛岡)
小野寺 浩 (本校部活動後援会 監事、八幡平市体育協会 事務局長)
榊原 世士 (滝沢第二中学校 校長)
井上 勝巳 (前 本校PTA顧問)
岡山 侑 (川前地区自治会 副会長)
- (学校側) 校長:岩淵健一 副校長:牧 一郎、三戸 望 事務長:小保内敏明
総務主任、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、保健主事、農場長、舎監長

4 会議録

進行:三戸副校長

(1) 校長挨拶

- ・学校評議員就任に感謝申し上げる。
- ・日頃の学校運営の協力に感謝
- ・皆様の意見を参考に、よりよい学校となるよう進めてまいりたい。
- ・学校評議員として様々な面でのご支援ご指導をお願いしたい。

(2) 自己紹介

(3) 説明

ア 学校経営計画について(岩淵校長)

- ・教育目標を「今後の取り組み方針」に表記、数値目標など若干の見直しを加えた。
- ・職員に対して、「授業第一であること」、「担任は生徒に1日1コンタクトをとること」をお願いしている。生徒は様々悩む年頃である。声掛け、アイコンタクトなど、1日1回は目を合わせて、担任は自分を見てくれているという意識を生徒に持たせられるようにしたいと考えている。
- ・生徒には、我々の力ではどうしようもない大自然に立ち向かいながら、小さな命を育ていくことに大きな喜びを感じ取ってもらいたい。それらの実習・学習の場であるの盛農生活を通して、将来の可能性を探りながら、豊かな人生の土台を培ってほしいと願っている。
- ・生徒の生れた頃は、個の尊重が叫ばれる一方、未来を見通せず、何でもありの時代であった。親と一緒に食事ができない、満足な食事が与えられないなど、寂しい家庭環境で育ってきた子どもも多いと思う。何がよくて、何が悪いのかの基準を示しながら、生徒を指導していきたい。

イ 各課の重点項目及び進路状況等について(各課長)

配付資料に沿って説明

(総務主任→教務主任→生徒指導主事→進路指導主事→舎監長→保健主事→農場長)

(4) 意見交換要旨

A評議員 滝沢駅前に住んでおり、毎朝散歩している。ある時、盛農の生徒に声を掛けてみた。大きな声で返事があった。そのうち、生徒から声をかけてくるようになり、嬉しくなった。元気な挨拶ができていているということは、学校でもいい生活を送っているのだろうと思っている。

ある高校では基礎学力が備わっていないくて、数学では小学校3年生レベルまで下げて授業を行っているという。盛農ではどうか。

生徒指導主事 情報をいただき有り難い。あいさつは、職員、来客者に対して、また生徒間で校内ではしっかり行っている。

教務主任 本校の場合は、基礎学力の面では全体的にそれほど悪くはない。教科により理解が遅い面がある生徒には、個別に指導をしている。

B評議員 盛農ではディベートを授業に取り入れていないのか。

教務主任 ディベートを主体とした授業は行っていないが、アクティブラーニングを取り入れたり、意見発表の場を設け、自ら学ぶ力の育成に努めている。

B評議員 農業政策等を肯定する側と否定する側に分け、意見を対立させることで、勉強が深まるのではないかと思うのでやってみてはどうか。

校長 以前、国語と社会でディベートを活用した授業が進められたことがある。今は、生徒が能動的に動いて、論理的な手順によって、意見を相手に伝えるという形で授業を行い効果を高めるアクティブラーニングに推移してきている。

C評議員 進学4割、就職6割。私の頃は、盛農の卒業生が県職員に多くの者が就職していたが、最近は県職員に就職してくる者がなく寂しい思いをしている。最近は他県出身者が県職員に採用されることも多くなっている。

進路指導主事 最近は15人前後が公務員に就職している。朝や放課後において、公務員試験対策の課外授業等を行うなどしており、引き続き公務員を目指す生徒等の支援を行っていく。

D評議員 農協には6名の生徒が入社した。国は農業の大規模化を推奨しており、法人経営体が増えている。中には収益10億円を超える法人も出てきていて、農業経営の在り方が大きく変わってきている。そうはいつても、小規模経営・家族経営体が必要な場合もあり、バランスを取りながら農業政策を進める必要があると考えている。

社会に順応できる人材を期待しているが、一般社会の事件等をみれば、短絡的な傾向があるように見受けられる。盛農の生徒の行動はどうか。

校長 考えが幼い行動や因果関係がよく分からない行動が増えている。本校に限らず、背景には放任や過干渉があるかもしれない。家庭環境の影響かどうか分からないが、精神的に不安定な生徒が増えてきている。これは他校からの情報でも認められる。

C評議員 応援歌練習の厳しさは、今思い出すとよい経験だったと私は思うのだが…。

学校には、豊かな人間性を持った人材を育ててほしいと願っている。そのためには、自然に親しむ環境が最も大事なことを考えており、盛農にはそういう環境がある。頑張ってもらいたい。

E評議員 以前、将来の夢について、生徒の発表を聞く機会があったが、盛農の生徒は目標を明確に持っている生徒が多いと感じたし、聞き手を引き込む話し方をするということにも驚いた。

6月1日発売の山ぶどう&ホイップメロンパンは、とてもおいしかった。

- B評議員 新聞・テレビに盛農生が活動している記事が出ていると、後輩も頑張っている
など思い、自分も元気が出てくる。盛農生に頑張ってほしい。
生徒には、新聞を読むことをお願いしたい。公務員試験では、地域との関り
ということが求められる。地域のことをどれだけ知っているか、興味関心を持って
いるかを問うことが多い。是非新聞を読むことを奨める。
- F評議員 基礎学力は、中学校においてしっかり身に付けさせて送り出したいと考えてい
る。盛農は多くの中学校から入学してきており、多くの個性とぶつかり合う環境
があることから、知・徳・体のバランスの取れた人間性豊かな人間に育ててほし
いと思う。
- G評議員 PTAとしては、親も子どもと一緒に成長できたらよいと願っている。障が
い者施設に勤務しているが、障がい者手帳がない子も施設に入ってくるようになって
きた。家庭や家庭を取り巻く環境が変わってきていると感じている。
いろいろな状況にある家庭があると思うが、学校には対応をよろしくお願いし
たい。
- H評議員 今の生徒を取り巻く環境や、時代背景的な面は校長が言った通りだと思う。
その中で、何がよくて、何が悪いのかの基準はしっかりと子どもに指導してほし
い。また、生徒一人一人の得意分野を伸ばしてやることも大切なことなので、教
師には是非お願いしたい。
- 校 長 本日は、貴重なご意見を頂き感謝する。
折に触れ、校長室においでいただき、情報をお聞かせいただければ幸いである。
今年1年間、学校評議員としてご指導ご支援をお願いする。